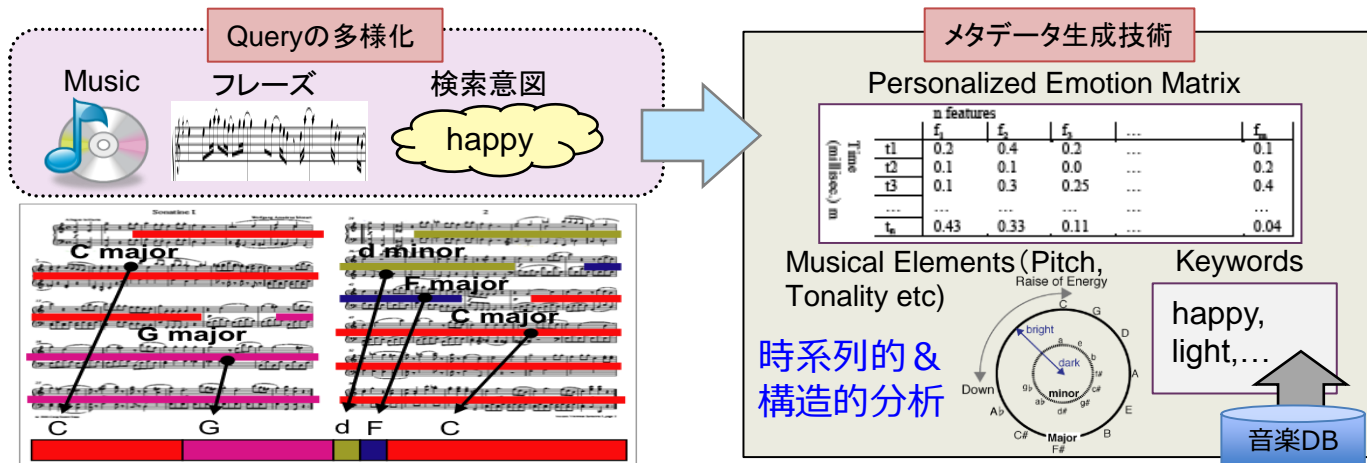


## A CONTEXT-BASED EMOTION-ANALYZER WITH AN AUTOMATIC TIME-DURATION SELECTOR

慶應義塾大学環境情報学部 市瀬綾, 倉林修一, 清木康

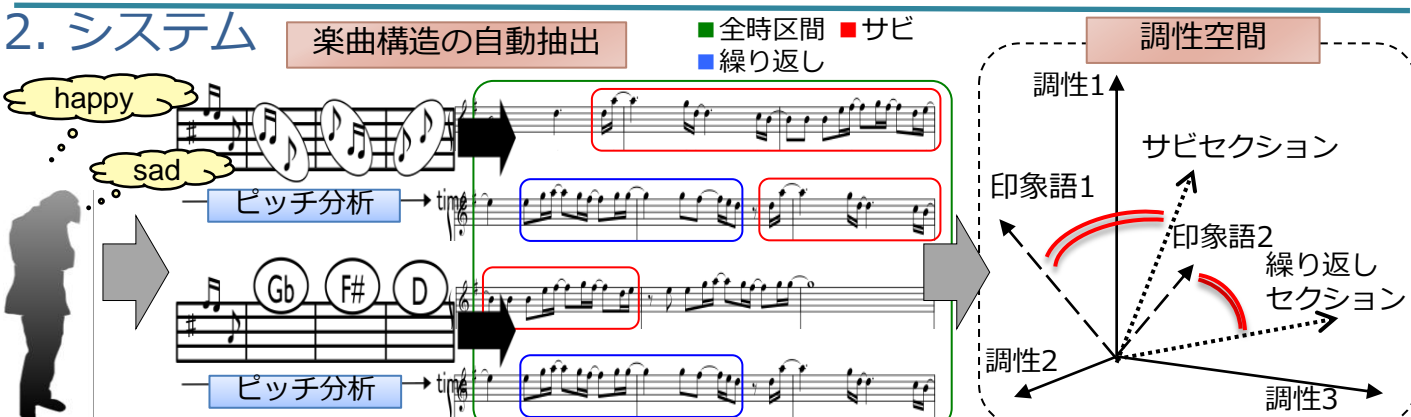
### 1. 研究概要

本研究では、音楽データの印象的なセクション（サビ構造、繰り返し構造）を対象とした感性特徴の分析により、印象特徴量を用いた時系列メディアデータのメタデータ生成と検索を実現する音楽データベースを構築する。



本研究の特徴は、楽曲の印象的なセクションの自動抽出機構を有し、時系列的变化を反映した印象特徴量の生成を実現する点である。本システムの実現により、利用者は順序を考慮した印象語のワードセットをクエリとして、それぞれの楽曲において特徴的な印象変化に応じた音楽獲得が可能となる。

### 2. システム



本システムは、楽曲内容（ピッチ、調性）の分析により楽曲構造の自動抽出を行い、楽曲における特徴的な時間軸を抽出したのち、楽曲の調性特徴量の連続的な変化を調性空間上にマッピングする。

### 3. アウトプット

本システムは、内容的・時系列的・構造的関連性に応じたメディアの特徴の集約的な可視化を実現する。そして、時間的に変化する特徴量を有する音楽メディアデータの印象メタデータ抽出において、リスナが感じる印象に強い相関を持つ時区間を選択することにより、楽曲全体をメタデータとして要約することによって生じる印象の曖昧性を排除する。

